

## 2級 実技（面接）試験実施概要

実技（面接）試験は、以下の実施方法により行われます。

1. 実施方法：ロールプレイ …… 20分  
口頭試問 …… 10分
2. 相談内容は、次頁の5ケースのうちから1ケースが出題されます。
3. 受検者は、民間の相談機関の相談室（学生、社会人その他様々な人を対象にしたキャリア相談窓口）において、キャリアコンサルタントの役割を担っていると仮定してロールプレイを行います。
4. 相談者は試験係員が担当します。
5. 面接時間は20分という設定でロールプレイを行います。なお、キャリアコンサルティングの開始にあたっては、守秘義務、持ち時間など事前説明は済んでいるものとして進めてください。
6. 面接を進めるにあたって、キャリアコンサルタントのあり方は自由ですが、相談者との関係構築、相談者の抱えている問題、その問題に対する目標設定など、具体的展開につながるような応答、プロセスを心がけてください。
7. ロールプレイ後、口頭試問を行います。  
口頭試問の例：  
①ロールプレイを振り返って良かった点、改善したい点は何ですか。  
②相談者が相談したい問題は何か。
8. 合格基準は100点満点で60点以上の得点です。評価区分は基本的態度、関係構築力、問題把握力、具体的展開力の4区分です。なお、評価区分ごとに満点の60%以上の得点（所要点）が必要です。
9. 厳正な採点を行うため、面接試験内容を録音します。受検者は受検に際し、資料等の持ち込み、メモ・録音は一切できません。なお、録音をしていた場合は失格となります。

厚生労働大臣指定試験機関  
特定非営利活動法人キャリアコンサルティング協議会

〒105-0011 東京都港区芝公園1丁目6番8号 泉芝公園ビル5階  
TEL 03-5402-4688

## 2級キャリアコンサルティング技能検定実技（面接）試験の評価区分

2級キャリアコンサルティング技能検定において、実技（面接）試験の合格基準は、100点満点で60点以上の得点であるとともに、評価区分ごとに配点の60%以上の得点(所要点)であることが必要です。

2級実技（面接）試験の評価区分とその内容は、下記のとおりです。受検される方は、これを熟読した上で、試験に臨んでください。

### 記

#### 【2級実技（面接）試験の評価区分とその内容】

**基本的態度：**キャリアコンサルタントとして自分をありのままに受容し、言語・非言語で表現し、多くの場合、一致していること。また、必要に応じて相談者の個別問題に応じた支援（助言・情報提供等）を適切に行うことができること。

**関係構築力：**キャリアコンサルタントとして、相談者に対する受容的・共感的な態度及び誠実な態度を維持しつつ、様々なカウンセリングの理論とスキルを用いて、相談者との人格的相互関係の中で相談者が自分に気づき、成長するような相談を安定的に進めることができること。

**問題把握力：**相談者が表現した内容から、相談者が相談したいことを把握し理解するとともに、相談者が訴えている以外の相談者の問題を把握しており、推論の根拠も説明できること。

**具体的展開力：**相談者との関係性を意識しながら面談を進め、相談者の訴えを理解した上で適切な目標を設定し、キャリアコンサルタントとしての対応を適切に選択し、対応できることで、相談者に気づき、変化（問題に対する認知の変化、自分または重要な他者に対する認知の変化、自己の表面的な表現から内面表現への変化、具体的行動や意欲の変化など）が起こること。

以上